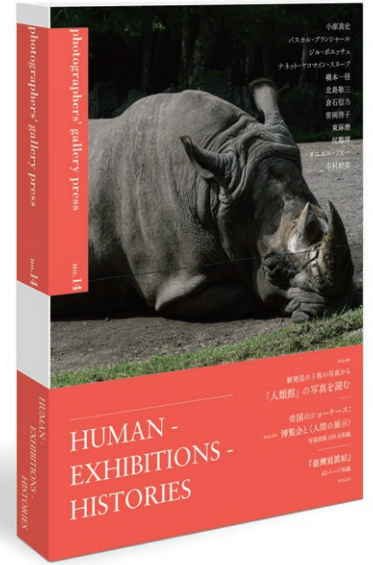


photographers' gallery press no. 14 発売のご案内

2017年、「学術人類館」で撮影された写真が3枚、新たに発見されました。1903年に大阪で開催された第五回内国勸業博覧会の場外余興であったこの施設では、北海道・沖縄・台湾・インド・アフリカなどから集められた人々が展示されましたが、その内容をめぐって抗議活動が行われ、社会問題化しました。第五回勸業博は、台湾という植民地を足がかりに版図を広げていく日本を体現するような「帝国のショーケース」であり、日本における万博の起源ともいえる博覧会でした。本誌では、人類館についての論考と欧米の博覧会で盛んに行われていた〈人間の展示〉をテーマにした誌面キュレーションを収録しています。そのほかに、第二次世界大戦中のアメリカにおける日系人強制収容所を記録した宮武東洋の写真、日本統治時代の台湾が収められた『臺灣寫真帖』から60頁を収録するなど、残された記録写真から私たちは何を読み解き、現在へと受け継ぐことができるのか、様々な分野の識者による論考とともに探ります。



特集 「人類館」の写真を読む 新発見の写真3枚をもとに

論考 小原真史 「人類館」の写真を読む ※図版多数掲載

誌面キュレーション 小原真史 帝国のショーケース:博覧会と〈人間の展示〉 ※図版112点掲載

邦訳 パスカール・ブランシャール、ジル・ポエッチュ、ナネット・ヤコマイン・スヌーブ 橋本一徑訳 見世物—野蛮の発明

Contents

収録 橋本一徑 フェティシズムとアニミズムの間にある写真—石内都と写真による死者への生命付与[田中対訳]

橋本一徑、倉石信乃、北島敬三 「何もしない男」の系譜としての写真史—シェリー・レヴィーンを手がかりに『臺灣寫真帖』60頁

論考 倉石信乃 風景以後—北島敬三の写真

東琢磨 カオナシの街から—顔と出会うこと(2)

侯鵬暉 「写真100年」展再考

—置き去りにされた日本統治時代の台湾写真[田中対訳]

ダニエル・アビー 久後香純訳 宮武東洋の複数のポジション[日英対訳]

中村絵美 風に吹かれる種—砂澤ビッキ考

写真 笹岡啓子 PARK CITY II



▲「学術人類館」で撮影された写真のうちの1枚。

B5判(W182×H257mm)／360頁

発行責任:北島敬三 編集責任:岸幸太

定価: 本体2500円+税

発売: 2019年12月20日

写真家たちによって編集されたもっとも濃密な写真誌。

▶ご注文はツバメ出版流通まで

FAX: 03-3721-1922

TEL:03-6715-6121

<http://tsubamebook.com>

mail:info@tsubamebook.com

貴店名 (番線印)	photographers' gallery http://www.pg-web.net/ 返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通:川人	
	photographers' gallery press no.14 B5判 360頁 定価2500円+税 ISBN978-4-907865-31-3 C0072	
ご担当:	様	冊